



新しい年に思いを込めて



ご家族や音野舎に関わる方々とお会いする機会である、大きな行事ができないままに新年へと移り変わりました。只コロナとの上手なお付き合いで事業所ごとのイベントは職員一人一人の個性を発揮して、今までにないご利用者の笑顔が写し出されました。法人内においては、十一月末から十二月初めにかけて職員のコロナ感染が見受けられましたが、幸いご利用者への影響がなく救いの一言でした。行動制限を守り抜く職員の我慢と努力の結果でしょう。まだまだ手を取り合っただの面会等ご遠慮申しあげておりますが、団体生活の事ゆえご理解を申しあげます。

音野舎では、デイサービスやヘルパーを始め、ケアハウスから特別養護老人ホーム、中間施設として看護小規模多機能ホームやグループホームの二棟を設置しております。

今更ながら皆様のお力をお借りして、『音野舎ここにあり』と、門扉を開くことを今一度申しあげます。この一言は当然、ご利用者様だけでなく、多くの働く場を求める方々、またふるさとへUターン・リターンを考慮しておいでの方々も働く場として音野舎へお問い合わせください。ご利用者とのお付き合いを通して、介護の道に精通出来れば、各々が知覧からの発信も可能ではないでしょうか。

そんなことを目標にこの二〇二三年は、入社してからの仕事がお決まりの業務ではなくて、それぞれの個性や意見を取り入れた『真心の介護』であることを目指したいと思えます。

走らず、ゆっくりと、振り返りをしながらの一日が、働くものそれぞれの家庭においても生かすことのできる日々を期待しましょう。

最後になりましたが、過ぎし二〇二二年の年賀状を待ちまして、音野舎では年賀状配布を取りやめました。今般のメールやSNSなど通してお付き合いの程をお願いいたします。

皆様、何事も共に歩んでいきますようにお付き合いください。



常潤高校でのみかん狩りの様子が
11月9日南日本新聞に掲載されました。

施設長 山内 知枝





特別養護老人ホーム

九月十八日に敬老会を行いました。この日は台風十四号が接近する中、停電しないか心配でしたが、宝釣りゲームを行い賑やかな時間を過ごしました。

職員と一緒に紐をひっぱり宝が釣れるとニッコリ笑顔が見られました。



百寿祝い

瀬戸ロミチエ様が三月に百歳を迎えられるため、内閣総理大臣から表彰状と銀杯が贈られました。ミチエ様に長生きの秘訣をお聞きしたところ、「たくさん食べて、たくさん働くことです。一日、一日を無事に過ごし、他人に迷惑をかけないことをモットーにしています。」と話してくださいました。昔は農業に従事し一生懸命働いていたそうです。食べる事も好きで、特に甘い物は喜ばれます。



普段は車椅子で移動されますが、リハビリでは歩行訓練を頑張っています。笑顔の素敵なミチエ様、これからもどうぞお元気でいてください。

この度は誠におめでとございます。



デイサービス

今年は、「敬老会週間」として、毎日楽しんでもらえるようゲームをしたりカラオケをしたりと工夫しました。ご利用者が「俺が歌っていいよ」と『北酒場』を熱唱してくださり、職員が懐メロを歌うと、それに合わせてご利用者が踊られ大盛り上がりでした。

最後に南九州市のゆるキャラ『お茶むらい』の突然の訪問に、ご利用者が大歓声をあげ「写真を撮りたい」と順番を待ち、若い頃の気持ちに戻って、とてもいい表情で記念撮影をされていました。



看護小規模多機能ホーム

九月二十六日に敬老会を行い、長寿番付けを発表した後クイズ大会もしました。難しい問題が出てくると職員がそっと耳元で囁き、正解される方もいらっしやいました。自信満々に答えるも珍回答が出ると、皆様大笑いされる姿が見られ大変盛り上がりました。正解された方には豪華景品が出るという事もあり必死に答える姿がありました。その後はおやつ「紅白まんじゅう」を皆様「美味しい。美味しい」と言いながら笑顔で食べておられ、とても楽しい時間を過ごす事ができました。

グループホーム

九月二十六日グループホームユニット合同での敬老会をささやかながら開催しました。日頃の感謝の気持ちを込め職員よりお祝い弁当と挨拶をさせていただきました。職員二名による祝いの舞に続き、キラキラな衣装に身を包んだ大物歌手『モリケン(職員)』が、マツケンサンバやダンスを披露しました。大物歌手に続きスペシャルゲスト、お茶むらいもお祝いに駆け付けてくれました。また、ご利用者が素敵なドレス姿で『岸壁の母』を熱唱され、皆様とても喜ばれ拍手喝采でした。最後は利用者代表による締めめの挨拶にて無事に会を終える事ができました。



ケアハウス

ケアハウス食堂において、ミニミニ運動会を行いました。
在園者十九名と、職員四名で、紅組と白組に分かれて、スプーンリレー、ボール運び、応援合戦、トイレットペーパーの芯で積立競争、輪送りなど皆様に楽しく参加されました。
応援合戦では楽器を鳴らしながら、紅組も白組もしっかり応援されていました。
「楽しかった」「たくさん笑った」などの言葉も聞かれ運動会を楽しまれた様子でした。



看護小規模多機能ホーム

暑さも和らいできた十月、ミニ運動会を行いました。紅組と白組に分かれ、一週間にわたって日替わりで、玉入れやボールを使った競技を行いました。どの競技も白熱し、直前まで眠っていたご利用者が自分の番になると、しっかりと目を開けて必死に手を動かされたり、今までに聞いた事のないくらい大きな声を出しながらボールを転がす方もいて、大変盛り上がりました。
競技の最後は成績発表を行い、優勝カップを受け取る際は昔に戻ったかの様な笑顔を見せて、とても嬉しそうにされている姿がありました。



各ユニットによる力強い選手宣誓に続き、グループホームは白組、グループホームIIは紅組に分かれて、輪投げ、玉入れ、パン食い競争、ボール渡し、借り物競争を行いました。
一番の盛り上がりを見せたのは、パン食い競争でした。お互いのパンを銜えようとす必死の姿に笑いが止まらず、いざ自分の番になるとなかなかパンを口でキャッチできないという光景が続出しました。
応援合戦ではお互いの頑張りを讃え合い士気を高めました。最終ゲームでは各チームの代表者にジャンケンをし、みごと白組が逆転勝利を収めました。
屋食は運動会スペシャル弁当を皆様美味しく頂き完食でした。

デイサービス

十月十日から一週間、運動会を開催し、職員が工夫を凝らした競技を日替わりで行いました。
タライやバケツを的にして、玉入れをすると皆様必死の表情で投げていました。紙コップを利用した競技、スプーンリレーなど短い時間の中での競技で物足りなかつたと言われる方もおられました。
応援にも熱が入り、「紅組、頑張れ!」と団旗を振り声に出していました。優勝した組は万歳三唱して喜びをかみしめていました。



特別養護老人ホーム

特別養護老人ホームは十一月十五日に運動会を行いました。紅組、白組の代表者が元気な声で選手宣誓をし、それぞれの組に分かれて輪投げや玉入れなど真剣勝負で競い合いました。職員の仮装行列を見て大笑いする場面もありとても楽しい運動会でした。



グループホーム



加世田常潤高校へみかん狩り

デイサービス

十月二十八日快晴の中、みかん狩りに行き、到着する前から、「どこに行くの?」「みかんは買えるの?」など楽しみでいっぱいの様子でした。

到着すると学校の先生が狩り方の説明をする中、早く始めたい気持ち先でみかんを手を伸ばす方もいました。大きなみかんを採る方、小さくても形の良いみかんを採る方と、普段より真剣な表情をして選んでいました。袋に入ったみかんを手にし「早く食べたーい」と大喜びされていました。

職員一同も「来てよかったね」と会話し、みんな揃って笑顔で帰路につきましました。



グループホーム・特別養護老人ホーム

十月三十一日、みかん狩りへ行き、果樹園担当の先生より「川辺みかん」が近年、減少しており、復活させる取り組みをしているとお話がありました。

ご利用者は、福祉課の生徒の皆様と一緒に、みかんの収穫に精を出していました。また、みかん狩りの手が止まり生徒さんとの会話が弾んでいる様子も見られました。久しぶりの外出と、若い方々との交流がとても楽しそうでした。

留守番のご利用者、職員へのお土産もたくさん持って帰りました。ビタミンを摂って風邪をひかないよう寒い季節を乗り切りましょう。



焼き芋大会

秋の恒例行事「焼き芋大会」をグループホーム玄関にて行いました。焼き芋大会を行う事にご利用者にお話すると、「お芋が一番好き」や「昔は芋ばかり食べていた」と笑いながら話されていました。

ご利用者の方々に焼き芋の準備を手伝っていただき、お芋をアルミホイルに包む作業では、皆様手際よく包み「これを焼くのね、嬉しい」と職員に渡していました。
天候も良く秋晴れの空の下、外に出てお芋を焼く作業を行いました。ご利用者が火箸を持ち、一つ一つ丁寧に焼きあがったお芋を二つに割ってみると湯気が立ち、色合いも良く、ホクホクしているのが分かるほど上手に焼けていました。ご利用者に渡すと「これは美味しいね、ありがとう」と満面の笑みが見られました。職員も一緒に頂き、和気あいあいとした時間を過ごせました。



また、看護小規模多機能ホームの皆様やケアハウスの皆様にもお声掛けすると、焼き芋大会の見学に来られ、焚火台からの熱風に「熱い、熱い」と手で仰ぐ方もいらっしやいました。焼きあがったお芋を渡すと大変喜び、皆様幸せそうに焼き芋を食べ、秋の味覚を楽しみました。



2023年 卯年特集

昭和2年（96歳）・昭和14年（84歳）の方で音野舎をご利用している方や卯年にあった出来事なども一緒にご紹介いたします。



ケアハウス
佃 京子様



特別養護老人ホーム
桑代 ハルエ様



特別養護老人ホーム
牧添 ナル様



グループホーム
丸野 吾一様

昭和2年
1926年12月25日からたった7日間で昭和元年は終わりました。「昭和」の始まりはこの昭和2年からなのかもしれません。
・『第1回全米オープンゴルフ選手権大会』が開催
・金華山沖で鹿児島商船水産高校の練習船「霧島丸」が沈没（43名死亡）
・流行曲『昭和の子供』『赤とんぼ』『汽車ぼっぼ』『どん底の歌』『佐渡おけさ』
・物価『カレーライス10～12銭』『タクシー料金（東京市内）1円』『慶応大学授業料140円』

昭和14年
「第二次世界大戦の勃発」「阿部信行内閣の成立」などがあった年です。
・日本国民に対し『金製品回収・強制買い上げ』を日本政府が実施
・第二次世界大戦へ不参加を表明 ・国内の石油が統制品となり配給制となる
・流行曲『上海ブルース』『愛馬進軍歌』『父よあなたは強かった』『上海の花売娘』『太平洋行進曲』

昭和26年
・第1回NHK紅白歌合戦放送開始 ・日本銀行が五千円札を発行
・赤痢（下痢、発熱、血便、腹痛などを伴う大腸感染症）が大流行で死者1万4000人以上。
・ヒット食品『明治ミルクチョコレート』『森永ミルクキャラメル』『ミルクィー』
・流行曲『ひばりの花売娘』『カチューシャ』『ミネソタの卵売り』『僕は特急の機関士』『アルプスの牧場』

昭和38年
・新千円札（伊藤博文肖像）発行 ・アニメ『鉄腕アトム』放送開始（連続テレビアニメ第1号）
・ヒット食品『エスコック即席ワンタンメン』『即席麺 日清焼そば』『フェラムネ』『コーンフレーク』
・流行曲『こんにちは赤ちゃん』『見上げてごらん夜の星を』『高校三年生』『長崎の女』『ホンダラ行進曲』

昭和50年
・3億円事件が時効成立
・ヒット食品『マルちゃんのきつねうどん』『ペヤングソース焼きそば』『カップスター』『缶詰 シーチキン』『きのこのやま』『森永ハイチュー』『ポテトチップス チップスター』
・流行曲『昭和枯れすゝき』『シクラメンのかほり』『想い出まくら』『時の過ぎゆくまに』『港のヨーコ・ヨコハマ・ヨコスカ』

昭和62年
・有明コロシアム完成 ・俳優・石原裕次郎が死去 ・マイケル・ジャクソンが後楽園球場で来日コンサート
・おニャン子クラブが解散 ・ヒット食品『ビール スーパードライ』
・流行曲『命くれない』『TANGO NOIR』『雪國』『STAR LIGHT』

平成11年
・GLAYのライブで幕張メッセに20万人動員 ・携帯電話・PHSの番号が11桁化
・ジャイアント馬場死去 ・ヒット食品『チョコエッグ』『森の香りあらびきウインナー』
・流行曲『だんご3兄弟』『Winter, again』『monochrome』『energy flow』

平成23年
・マグニチュード9.0の東日本大震災発生（死者・行方不明者数は2万人以上）
・児童養護施設に匿名で寄付を行う「タイガーマスク運動」が全国に広がる
・任天堂初3D携帯ゲーム機「ニンテンドー3DS」が発売される
・ジャスコとサティが一部店舗を除きイオンの名称に統一される
・地上デジタル放送に完全移行 ・ヒット食品『日清カップヌードルご飯』『ソウルマッコリ』
・流行曲『フライングゲット』『Everyday, カチューシャ』『風は吹いている』『桜の木になろう』

文化祭見学



十一月二三日、知覧体育館で「知覧文化祭」が三年ぶりに開催されました。ケアハウスからもご利用者の方々が一針一針縫いで制作した布のマスク入れと、秋の味覚の飾り物を展示させていただきました。会場では自分たちが作った作品はもちろん、他の方々が作られた作品を見て「綺麗だね」「上手に出来てるね」など、思い思いに展示物の見学をされ、久しぶりの文化祭を楽しまれていました。

秋のドライブ



秋のドライブに希望者のみ八名参加され、川辺の道の駅まで行きました。出かける前から「財布を持って行かないと」お金が入っているかななどウキウキしながら準備をされている方もいらっしゃいました。店内では、各自カートを押し、買い物カゴに果物や漬物、お菓子等入れ、好みの品物を購入していました。「また連れて行って欲しい」との言葉も聞かれ、満足した表情でした。

国体花の寄贈



南九州市では、2023年10月7日より「燃ゆる感動、かごしま国体」の会場を予定しております。その一環として、地域の小学校に協力をいただき、プランターに花を植え、イベント会場に設置する取り組みを行っています。9月23日に開催された「全日本総合女子ソフトボール」の大会会場にも、色とりどりの花が飾られ、大会を盛り上げてくれました。

大会終了後、飾られた花を施設に寄付していただきました。皆様、「きれいだね」「水をやらんとね」と笑顔多くみられました。きれいな花々と子供たちがプランターに書き添えた応援メッセージをみながら、大切に育てていきます。ありがとうございました。



～機能訓練部紹介～



理学療法士 瀬戸口 真

知覧という素敵な場所にご縁があり、五月より入職させて頂きました。人と人の繋がりを大事に、リハビリを通じて共に歩んでいければと存じます。宜しくお願い致します。

理学療法士とは…

基本的動作(寝返り、起き上がり、座る、立ち上がり、歩く)を獲得する為に運動や訓練を行う。



作業療法士 内山 香織

特別養護老人ホーム音野舎とご縁があり、九月から働かせて頂くことになりました。他職種の方々と連携を図りながら、入所者様の生活の質があげられるように支援してまいります。

作業療法士とは…

日常生活動作(食事動作、整容更衣動作、トイレ動作など)を獲得する為の運動や訓練を行う。



一特養機能訓練・デイサービス機能訓練一

歩行訓練

ご利用者に合わせ、歩行器などを使用し歩行を行う訓練

筋力訓練

職員が負荷をかけ、利用者に押し返してもらう訓練

筋膜リリース

筋肉にへばり付いた状態となってしまう筋膜をはがし、時間をかけて正常な状態へと戻していく施術法

着脱訓練

洋服やズボンを履いたり、脱いだりする訓練



筋力・可動域訓練

膝、股関節、足関節(足首)等の柔軟性の低下を改善し痛みを軽減をはかる訓練



デイサービス 作業療法士 藤田 志穂

肩甲骨周囲の可動域訓練

肩周り関節が硬くなったり、変形するのを予防、柔軟性の低下を改善し痛みを軽減する事が出来る訓練



季節のイベントやレクレーションを通しての訓練



音野舎では、理学療法士1名、作業療法士2名のスタッフで機能訓練を実施しております。特養機能訓練では、施設でありながらも我が家での生活をイメージできるようにリハビリを行っており、ショートステイご利用の方には担当者会議や自宅訪問をさせて頂き、自宅での生活を想定した訓練を行っております。デイサービス機能訓練では、季節の作品を作成したり一人一人に合わせた訓練や動作能力の向上に努めています。3人のスタッフと情報を共有し、ケアマネージャー、介護職員と連携を図りながら訓練を行っていきたくと思います。

発行

社会福祉法人 滴々会
高齢者総合福祉施設 音野舎(のんのしゃ)
〒897-0302
鹿児島県南九州市知覧町郡2072番地2
TEL 0993(58)7171 FAX 0993(83)4771
URL <http://www.nonnosya.com/>
E-mail info@nonnosya.com

編集後記

新年あけましておめでとうございます。
新年を迎え、気持ちも新たに、職員一同取り組んでいきたいと思っております。
感染症に十分注意しながら、皆様が明るく楽しい1年となりますように。